

富士スバル 太田店

齋藤 熙社長

ブランド価値向上

「スバル陣営最大級となった太田店（群馬県太田市）大改修のいきさつは

「老朽化した拠点を将来の新車市場を見据えた拠点とすることが目的です。販売車種

21世紀型店舗のあるべき姿を示す

の待合室とサービスフロントもありません。一方の新ショールームは20台展示可能で、ウッドデッキ付きのSTIカフェも設けて上質な空間としたほか、納車室を2室新設した。またナンバーキャッチシステムの導入や既存のショー

ルームにSTI専用ブースの設置なども行いました」

「改修のポイントは

「来店されたお客様の満足度を高めることです。そのためには、そこで働くスタッフの満足度も高めなくてはならない。お客様が安心・信頼して訪れることができ、店内でくつろぐことができる。そ

サービス工場に 床冷暖房を導入

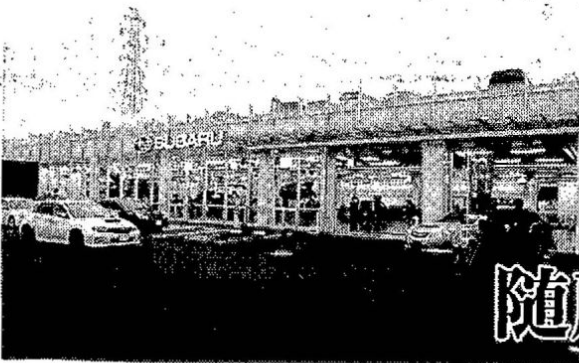
構成の変化に対応するとともに、富士重工業が取り組んでいるスバルブランドの再構築に呼応し、ブランド価値を高めるための最先端のハードとソフトを導入しました」

―太田店の概要は

「リニューアル工事は2年間を費やして13年10月に完了しました。新工場は明るく開放的な前面ガラス張りの建物で21ストールを有し、お客様



上質な空間を演出した新車ショールーム



快適作業空間を実現した大規模サービス工場

随所に最先端の技術

はスタッフが健康で働ける職場でもある。お客様とスタッフの双方にとって快適な空間を目指しました。また太陽光発電の導入などにより環境保全に対する企業姿勢も示しました」

効率アップに直結

―サービス工場に国内初の床冷暖房を導入したが

「工場内の空調はヤマトから提案があった自動車整備工場快適空調システムを採用しました。すでに当社では全蓄熱型永蓄熱システムを本社ビルをはじめとする様々な施設に導入しています。また床暖房付きのシステムも新車2拠点のショールームで採用実績があります」

―床冷暖房採用の決め手と導入効果は

「大きな投資となったが、作業時間内にサービススタッフの指先がじんじんかむことや大汗をかくことがないようにすることを重視しました。結果、作業環境が大幅に改善され、作業の安全性や効率アップにも結び付けました。加えて現場スタッフの身だしなみもよくなり、お客様からの信頼性向上にも役立っています」

自慢の店舗

集客力やCS、ESの重要な要素となる店舗づくり。器と設備類、機能に対するこだわりは、企業としての思いが伝わってくる。毎年、多くの新店舗が誕生しているが、最新の設備導入と効果が顕著な新時代を代表

「© FUJISUBARU (株) 2014年12月12日現在」